

戦争法案、なにが問題？

2015年5月15日、安倍自公政権は「国際平和と支援法案」「平和安全法制整備法案」と命名した2法案を国会に提出しました。武力攻撃事態法や自衛隊法、重要影響事態法などの法案を一括した「平和安全法制整備法案」では、自衛隊が海外で武力の行使ができるようになっています。

たとえば機雷掃海ですが、朝鮮戦争時のように上陸作戦の露払いとなる可能性があります。武器を携えて外国船に乗り込み、貨物を没収するなどの船舶検査も武力の行使です。国連 PKO などは、武器を使って外国の治安維持行動もできるようになります。ただ、安倍自民党が提示する事例は非現実的なものが多く、「邦人救出」に関する安倍政権の議論は、自衛隊の準機関紙『朝雲』2015年2月12日付すら「現実味に欠ける」「無責任」と批判しています。

安倍自公政権は「国際平和と支援法案」「平和安全保障法制整備法案」などと命名していますが、戦争で多くの市民を殺害するアメリカ軍を支援し、自衛隊員が人を殺し、殺されるリスクが高まる法案の危険性を国民に隠すための命名です。この2法案の正確な性質を示すのであれば、「戦争法案」と呼ばれるべき法案です。

飯島 滋明(名古屋学院大学准教授・憲法学)



映画「戦場にかける橋」の舞台となった、タイのカンチャナブリにある「死の鉄道博物館・調査センター」に掲示されているパネル。「日本がアジアを侵略する」と書かれている。日本の侵略戦争で被害を受けた国々も、戦争法案制定や憲法改正の動きを警戒する。2015年3月、飯島撮影。



戦争をさせない
1000人委員会
Anti-War Committee of 1000

「戦争をさせない1000人委員会」
事務局

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町1-15 塚崎ビル3階
「戦争をさせない1000人委員会」事務局

TEL : 03-3526-2920

FAX : 03-3526-2921

HP : <http://www.anti-war.info/>

【装丁・デザイン】

(株) ビープロダクション

装丁・デザイン Roomie's

peacevideonet@yahoo.co.jp

ディレクション 高部優子

許すな！ 戦争法案



2015年1月19日から3月7日までカリフォルニアで行われた、日米合同実動訓練(アィアンフィスト)での、オスプレイを使っての負傷者輸送訓練。

戦争をさせない
1000人委員会
Anti-War Committee of 1000